

Chobi's Paws for Thought

vol. 5



チヨビせんせい いいたい放題 第5回

My last story was a bit sad. I actually know other stories like that. Dogs and cats at ARK have a really sad past. I would like people to know more about these things.

You may have seen me on television the other day. When I was introduced, I felt a bit shy. ARK and I have appeared on television several times. That is probably why, I heard, another organization is imitating us by publishing a similar newsletter. We dogs are all different from each other. We don't imitate each other. The television programme presented a very sad reality, much sadder than my last story. There are many pitiful former pets. If everyone sincerely worked for the welfare of animals, I would be happier.

By the way, I was named Chobi by the person who rescued me. I don't remember, but he told me, that when he fed me thinking I was hungry, rather than gobble it down, I ate slowly and carefully. My name, Chobi, sounds a bit funny, but in reality I am a cheerful guy. It is said that I often do the unexpected. Once, when somebody I didn't like was passing me, I startled a snake and that person got a shock. I was a bit afraid too. We dogs, cats and humans too are mammals. That's why we are afraid of something different from ourselves.

The dogs here at ARK, including myself, understand what cats say and I somehow manage to understand Wilbur the pig. On the other hand, I don't understand turtles and roosters. Roosters, in particular, are awful; they chase me very aggressively. Humans although mammals can talk better than we do but they often quarrel. I don't understand why.

Humans are not supposed to care about skin color or where a person is born. Huh? So there are people who worry about that. Ah! That's why some people despise us mongrels and are keen to get us a pedigree certificate. Even puppies and kittens know the word "kettosho" <pedigree> and "zasshu" <mongrel>, because they were abandoned like garbage due to the fact they didn't have a pedigree certificate and were crossbreeds. We don't fight because of the color of our coats and most of us don't know where we were born, nor do we care. Humans fight although they can talk and worry about skin color and pedigrees. I wonder if those who want to get dogs and cats with pedigrees or those who sell them come from elite families themselves. We dogs play with each other without making these distinctions. We don't care about who does or doesn't have a pedigree certificate. Only humans worry about this.

I was told that a year has passed since I started to talk in this column. I wonder if there is any change in animal welfare. I sometimes really weep at the present circumstances of the animal welfare movement, nevertheless I will remain optimistic. How about you?

オフレコ トーク

チヨビ: ワンという間の一年でしたが、もっと頑張ろうという気になるいいこともありましたよ。

編集部: チヨビがいつまでつづけてくれるかわかりませんが、今後ともよろしく。

ほくはふつうの学校にも犬の訓練所にも行ったことがないし、だから字も書けないんだけど、犬にも主張があるっていうことを人間に知ってもらいたいと考えていざとこへ、聞き書きをしてくれるっていうんで、ぶだん言い切れないことをこのコラムで言おうと思う。

前のはちょっと悲しい話でした。だんだんまともなことがいえるようになってきけど、(人間のことは)話すのに慣れてきた感じです。あんな話はまだまだあるんですよ。まだ涙がでるなあ。アークの仲間の犬君・猫君たちの昔の話は悲しいけど、もっと人間にわかってほしいと思います。

この間テレビに出て、この子がチヨビなんですなんて紹介されてね。ちょっと恥ずかしかったです。前にも何回か、ほくもアークもテレビに出たりしました。だからかな、聞いたんだけど、ニュースレタス出したり、びこーしてとかいってましたけど、同じことをする所が前からあるって。ほくら犬はみな一人ひとり違って、だれかがしたのと同じことは絶対しないです。人間ってほんとにわかりません。あのテレビ、前のほくの話よりもっともっと、ずーっと悲しかったでしょ。ほんとに可愛い想の仲間がたくさんいるのです。みんながほんとにほくらたちのことを考えて(愛護活動)をしているなら、うれしいけれど。

ところで、チヨビという名前は保護してくれた人がつけてくれたんです。おぼえてないんだけど、お腹がぺこぺこのはずなのに、もらったご飯をちょびつとずつしか食べなかったらしいです。だからチヨビだって。ほくの名前はちょびとおもしろいけど、うーん思い出せない、前にこの辺の言葉で「アカンです」みたいな名前の人と散歩に言ったことがありましたよ。ほくは名前は冗談みたいだけど、でも性格はほんとにヒョーキンです。よくアークの人とか仲間の犬君・猫君たちが、はれっと思うことをするといわれます。ほくはそんなことはないと思うんだけど。だしがに一度、ちょっと好きじゃない人が近づいてきたときに、へびをつついたりしましたけど。ほくも少し恐かったです。ほくら犬とか猫君たち、人間は、卵でなくて赤ちゃんで生まれるからホンニャーなんとかが⁴というんでしょ。だから全然違ったものが悪いんですね。

ほくはアークの仲間の犬君たちはもちろん、猫君たちのいっていることもなんとかわかります。でもわかるのは豚のウィルバー⁵までかな。イシガメやニワトリとかは、やっぱりイシガメとニワトリです。ニワトリさんは悪いですよー。コケツなんて追いかけきます。人間もホンニャーなんとかが、ほくらよりもっとうまく話せるのに、ケンカばかりしてるってよく聞きます。なんでかなあ。

人間はからだの色とか、どこで生まれたとかいってはいけないうでしょ。えっ?という人がたくさんいるんですが。だからほくらのこと、犬ころとかトラ猫とか平気でいったり、血統書にうるさい人が多いの。小犬ちゃん、小猫ちゃんたちはホケンショと聞いたら恐がるし、ケットーショとかガッショがなんのこともかも知っています。だって、だいていこれでゴミみだいに捨てられちゃったんです。ほくらは毛の色のことなんかでケンカしないし、だいたいどこで生まれたかわからないし、みんなそんなこと全然気にしません。人間はうまく話ができるのにケンカするし、からだの色や血統書のことをうるさいなんて酷い。血統書の犬君や猫君をほしがるとか売るとかは、すごい所で生まれたのですか。ほくらはそんなこと全然考えないでいっしょに遊ぶし、だれが血統書があるなんて全~然カンケイないです。こんなの、みんな人間だけがわかってるってことだと思うけどなー。

ニュースレタスで話すようになって、もう一年だって聞きました。何が変わりましたが。ほくはときどきほんとに泣いてしましますが、頑張ります。よろしくをお願いします。

速記 冬野

注1: 本年5月3日テレビ朝日系放映
ザ・スクープ 「タルメンションの涙」

注2: 「ニュースレター」、「コビー」

注3: 以前アークを助けた排人、敵閥千急という名の人のことか。

注4: ほ乳類のことか。

注5: アーク・ニュースレター22号(1996年)